

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

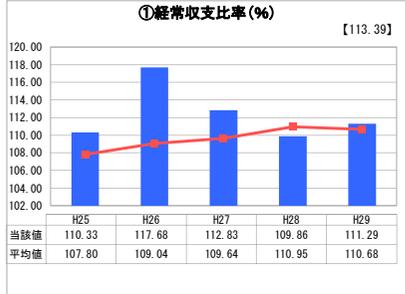
兵庫県 赤穂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	73.46	100.00	853	

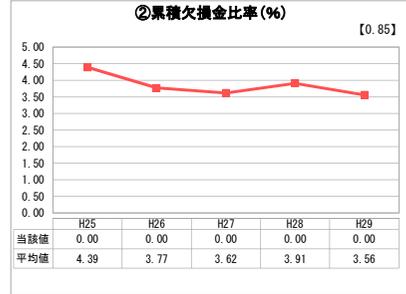
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
48,440	126.85	381.87
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
48,177	31.15	1,546.61

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

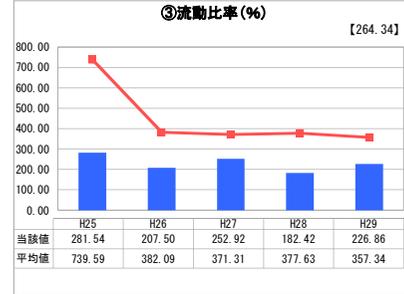
## 1. 経営の健全性・効率性



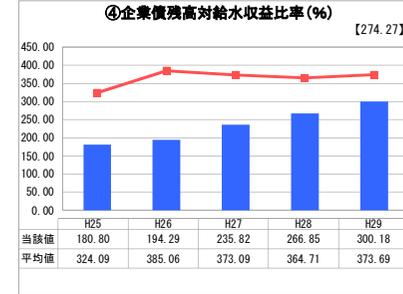
「経常損益」



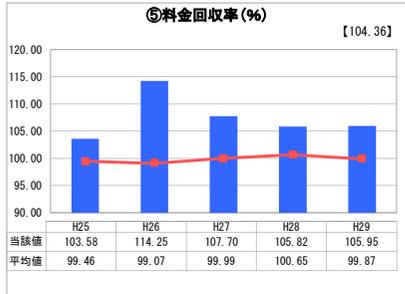
「累積欠損」



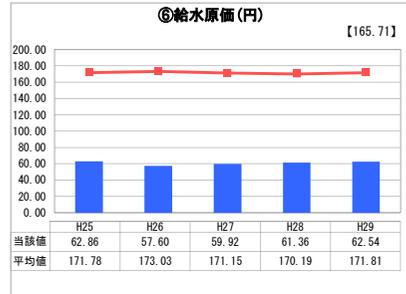
「支払能力」



「債務残高」



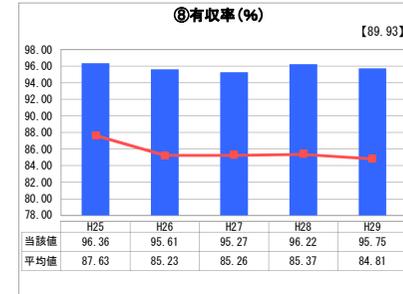
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

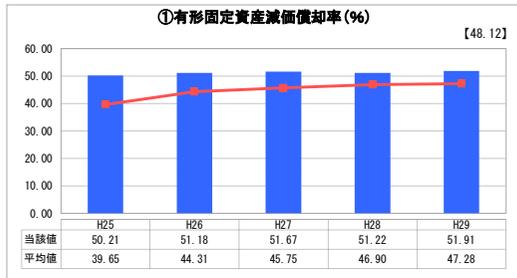


「施設の効率性」

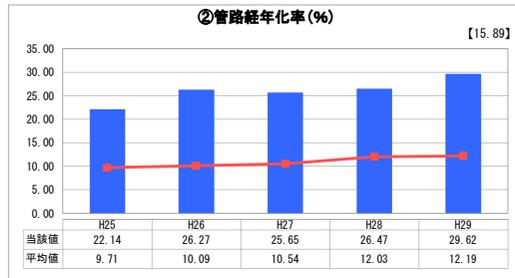


「供給した配水量の効率性」

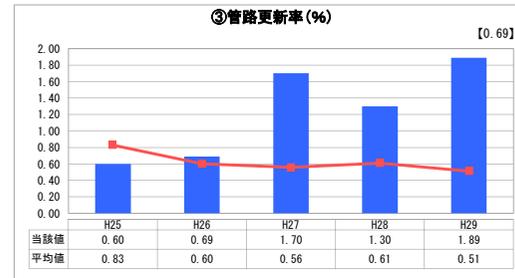
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

類似団体と比較して、経営収支比率、料金回収率の項目において平均値を上回っていること、企業債残高対給水収益比率が平均値を下回っていることから健全な経営であるといえる。しかし、前年度と比較すると、企業債残高対給水収益比率については上昇しており、また、給水原価についても年々上昇している。これらは、人口減少等の影響で給水収益が減少したことが主な要因であり、今後さらに給水収益は減少することが予想される。効率性については、施設利用率は類似団体とほぼ同率、有収率は類似団体の平均値より高くなっており、比較的効率的な経営であるといえる。

### 2. 老朽化の状況について

類似団体と比較して、有形固定資産減価償却率、管路経年率が高いことから、老朽化した施設や管路が多いことが分かる。平成25年度に水道ビジョンを策定し、これらの施設や管路の更新及び耐震化を順次行っており、その結果、管路更新率は高くなっている。しかし、それ以上に法定耐用年数を経過した管路が増加したため、前年度より管路経年率が高くなった。引き続き水道ビジョンに従い、計画的かつ効率的な更新を進める必要がある。

## 全体総括

安全で、安心な水道水の供給のために、老朽化した施設や管路の更新、災害に備えた耐震化、高度浄水処理施設の設置、監視体制の強化等への取り組みが急務であり、その財源の確保が必要である。現在のところ経営状況は良好であるが、人口減少等の影響で給水収益の減少が予想されるため、料金水準の見直しによる収入の安定化や施設の統廃合等によるコスト削減を図り、健全な経営の維持に努める。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。